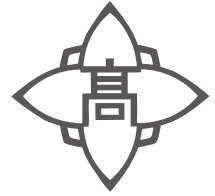




東 陵



第21号

福岡県立嘉穂東高等学校同窓会報

発行／平成30年10月 飯塚市立岩1730の5 嘉穂東高等学校同窓会



あの頃と...



あんたも変わらないねえ...



ごあいさつ

「同窓会は永遠、不滅」東陵発行に寄せて

嘉穂東高等学校 同窓会 会長

藤江 文雄 (高校9回生)

母なる川、遠賀川の川面が朝霧に覆われ、校庭の公孫樹の葉々もほんのり黄金付いて中秋の佇まいを感じる好季節を迎えようとしています。同窓生諸氏の辺りはいかがでしょう。

振り返れば、今年は一層天候不順に襲われました。平成28年の熊本地震に続き、九州・関西・関東をはじめ全国的に熱暑、豪雨、洪水、地震と天変地異、安全・安心の国民生活が脅かされ、今なお自然の驚異に不安を抱き、復興の苦難の道を歩まれている同窓生の方々に対し、心からお見舞い申し上げ、安全安心の国土が1日も早く実現されることを強く念願いたしております。

さて、母校同窓会活動は、皆さん方のいつも変わらぬご理解、ご支援をいただきながら、同窓生諸氏相互の交友の広がり、母校の意気昂揚に及ばずながら寄与できたのではないかと厚顔無恥を省みず思っております。

母校は、同窓会は、私たちの心のふるさとだと信じています。同級生同士での集い、旅行などの知らせを耳にする度に、私ごとのように嬉しく思っています。同窓会は勿論個々人の心に存在しているものですが、先日、心に響く言葉に接することがありました。

私が母校の文化祭に寄せていただいたときです。丁度英語科の生徒達の英語劇が演じられていました。英語が不得手な私ですが、それでも時折、鳥肌が立つ程の身震いを覚えました。でも、その最中、突然キーンという電子音が響き、音声が度々途切れました。その事を役員会に報告し、音響設備の不具合ではないか、もしそうだとしたら何

とかしなくては、ということになりました。そこで、まず音響関係の仕事をされている40回卒の斉藤氏に相談しましたところ、息子さんが学校に来られ機材の具合を診断していただきました。その結果、操作方法を習得すれば機材の方は正常ということでした。その際息子さんが一言「ここで親父が青春を過ごしたかと思えば心が熱くなります」「何か具合が悪いときはいつでも連絡してください」と。

また、ある時、「師を仰ぎ、友を愛し、母校に帰る同窓生達の純粋な心を大切に育み集う場所が、この同窓会だと思います。私にとって、亡き母に近づける場所でもあります。」とのメール。同窓会の神髄を得た言葉ではないかと思えます。私より早くこの世を去った弟も東の卒業でした。在校中は多くの友達を得て高校生活を謳歌していた姿を思い出します。母校や同窓会は、私たちだけのものではなく、祖父母、両親、兄弟、子ども等、3万を超える同窓生、縁ある人と繋がる心の故郷だと思います。あり得ないことですが、万が一母校が縮小されていっても、心の故郷は消滅することはありません。同窓会は不滅です。永遠です。

行く末不安な世情にあつて心の拠り所は、まずは自分自身のアイデンティティーでありましょうが、それを構成する要素の一つは故郷であり、友人であり母校であると信じています。

終わりに、母校、福岡県立嘉穂東高等学校の「東風吹かせ」のスローガンのもと、より一層の存在感の構築と、同窓生諸氏のご多幸とご活躍を祈念いたします。



ごあいさつ

嘉穂東高等学校 校長

矢ヶ崎 裕和

本年度の人事異動で福岡県立香椎高等学校から赴任してまいりました校長の矢ヶ崎と申します。創立108年を迎える長い歴史と伝統を誇る嘉穂東高等学校に勤務できることとなり、身の引き締まる思いがしています。また、日頃より藤江文雄会長をはじめとして、同窓会の皆様方には本校の発展のために御支援・御協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、4月7日の入学式で新入生237名を新たに迎え、平成30年度は、全校生徒709名でスタートいたしました。

5月9日には、同窓会より多くの御来賓をお迎えして創立記念式典及び記念講演会を開催いたしました。講演会では、高校8回生である柏木順子様より、「道を開くー 一流たれー」と題した御講演をいただきました。御自身の歩みを振り返りながら、「わが身に降りかかるどんな出来事にも意味がある」「諦めなければ目標は逃げない」と生徒の心に響く大変温かいお話をいただき、素晴らしい時間になったと感謝しております。

5月29日には、嘉穂高等学校との硬式野球定期戦が行われました。今回で105回を数える定期戦は、晴天の下筑豊緑地野球場で開催されました。6回までに5点を失う苦しい試合展開の中、7回に4点を返し追いつきましたが、惜しくも4対5の1点差で敗れてしまいました。敗れたとはいえ、応援団や吹奏楽部と力を合わせ、生徒が一体となった応援も大変素晴らしいものでした。野球部の生徒にとっても夏の大会に向けて大きな励みとなりました。御来場いただきました皆様方にこの場をお借りし

て心からお礼を申し上げます。

6月9日の文化祭では、同窓会からもブースを出していただき、同窓会グッズの販売等を通して御協力いただきました。本当にありがとうございました。

体育祭は、雨天のため9月12日に日程を変更して実施しましたが、快晴の下全種目を滞りなく実施することができました。どの演技もすばらしかったのですが、特に1年生女子による「御神楽」には本校の長い伝統の中で育んでこられた良き校風が受け継がれていることのすばらしさを感じました。保護者の方の「私も在学中に踊りました」という言葉を耳にし、変わらず受け継がれていくことの大切さもあらためて感じる一日となりました。

本校は2年後に創立110周年を迎えます。時が流れ時代が変わっても、創設者伊藤傳右衛門氏の教育にかけた想いを忘れてはならないと常々思っています。生徒たちには「勉強でも部活動でも生徒会活動でも何でも構わないから、自分を伸ばす何かでチャレンジしてもらいたい、それが創設者の想いに応えることにつながる」と言っています。同窓会の皆様方が積み上げてこられた伝統の上に新たな伝統を創りあげるべく、嘉穂東高等学校の更なる発展を目指して教職員・生徒一丸となって全力で取り組んでまいりますので、今後も変わらぬ御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。御挨拶いたします。



文化祭

今年のテーマは、『文化東来～歴史に刻もう東の絆～』です。

2018

6/8(金)
～9(土)

◆オープニングセレモニー

書道部のパフォーマンスから始まりました。
音楽にあわせて全身を使って書き、会場からのたくさんの声援や手拍子もあり、大いに盛り上がりました。



◆全体企画披露

今年のテーマ設定の理由は、「嘉穂東高校の生徒全員で協力して文化祭を成功させ、文化的な取り組みによって嘉穂東高校の一体感を高め、例年よりも絆を固めたい」という願いを込めて設定しました。
七夕をイメージして、星をかたどった色紙に生徒の願いを書きました。



◆1年生合唱コンクール

2・3年生の生徒の投票で審査が行われ、優勝は1年5組でした。

◆3年生ステージ発表

2クラス合同で発表しました。



◆英語科・英語劇

今年の英語劇は「Sing」を上演しました。
劇はすべて英語で行われましたが、字幕があったので見ている方も分かりやすかったのでは。
最後に特別賞をいただきました。



◆2年生教室展示

優勝は2年2組の「コロコロバイキング」でした。

◆有志企画

ダンスや歌など発表して、盛り上がりました。

◆閉会セレモニー

吹奏楽部による演奏で最後を締めくくりました。

中学生の体験入学

平成30年9月27日(木)、中学生の体験入学が行われました。
放送部と英語科の生徒による学校紹介を行いました。英語科は英語劇(Sing)の一部も披露しました。応援団と部活動生徒による校歌を披露しました。

授業体験では、ALTの先生の授業や電子黒板を使った授業等を体験、その後は、部活動の見学をしてもらいました。

今年は例年以上にたくさんの中学生、保護者の方に参加していただき、ありがとうございました。

来年、皆さんと本校でお会いできるのを心よりお待ちしております。

2018

9/27(木)



嘉穂東高校 母校の動き



平成30年度 教職員の異動

【転出】

(校長)	前田 武男	福岡講倫館高校へ
(副校長)	吉永 高広	香住丘高校へ
(地歴)	近藤 英彦	筑紫中央高校定時制(教頭)へ
(保健体育)	萱嶋 俊児	定年退職
(数学)	石坂 貞義	定年退職
(英語)	吉武 勲	香住丘高校へ
(地歴)	山崎 圭一	博多青松高校定時制へ
(家庭)	伏見 郁子	東鷹高校へ
(事務)	川並 敏文	東鷹高校へ
(事務)	矢山美美子	退職

【転入】

(校長)	矢ヶ崎裕和	香椎高校より
(副校長)	稲富 広	嘉穂東高校教頭より昇任
(教頭)	島村 芳治	稲築志耕館高校より
(地歴)	井地 誠	宗像高校より
(保健体育)	酒見 智栄	西田川高校より
(美術・通級)	飯野源太郎	直方特別支援学校より
(国語)	尾野 涉	新規採用
(英語)	長野 綾子	新規採用
(事務)	西山 真美	直方高校より

卒業生進路実績 ※合格者延べ人数

第70回生(平成30年3月卒業)

○国公立大学	10名
福岡県立大学	3名
北九州市立大学	3名
福岡教育大学	1名
高知大学	1名
佐賀大学	1名
山口大学	1名
○私立大学(主要校)	216名
西南学院大学	19名
福岡大学	56名
産業医科大学	1名
京都外国語大学	3名
関西外国語大学	2名
○私立短期大学	14名
○看護系専門学校	21名
麻生看護大学校	10名
○医療系専門学校	7名
○その他の専門学校	55名
○公務員	29名
○民間就職	8名

部活動実績(九州大会)

【水泳部】

- 第66回全九州高等学校水泳競技大会出場
平成30年7月14日(土)～16日(月)
熊本市総合屋内プール(アクアドーム熊本)
花岡 風矢(2年)50m自由形・100m自由形
- 第80回全九州高等学校選手権新人水泳大会(末広杯)出場
平成30年9月29日(土)・30日(日)
熊本市総合屋内プール(アクアドーム熊本)
花岡 風矢(2年)50m自由形・100m自由形
祐下 笙汰(2年)50m自由形・100m自由形
北原 春紀(2年)50m背泳ぎ・200m背泳ぎ



作文コンクール

第7回命の大切さを学ぶ教室 全国作文コンクール

- ◆高校生の部 優秀賞 柏木 彩希(3年)
- ◆高校生の部 優秀賞 黒木 阿子(3年)

夏季クラスマッチ

7月12日(木)13日(金)に行われました。1学期最後の生徒達にとっても楽しみの行事で清々しい汗を流しました。男子はソフトボールとバレーボール、女子は卓球とバレーボールです。どのクラスも一致団結し、競技する選手はもちろん、応援でも白熱した熱戦が展開されました。





平成29年度 同窓会入会式

■平成30年2月28日(水)

卒業式の前日に、毎年同窓会入会式が開催されています。今年は223名の卒業生が晴れて同窓会の会員となりました。母校体育館は凜とした雰囲気の中で生徒たちの着席する姿勢も話を聞く態度も素晴らしいものがありました。前田校長の挨拶に続いて、藤江同窓会会長からは、「30,000名を超える同窓生の中には海外で活躍している方もいます、皆さんもグローバルに活躍してください、そして一番はこの地元・故郷を育てて欲しい、故郷のためにも頑張って欲しい、東高校を卒業したことに誇りが持てるような人になってください。個人・団体でも困ったことがあったら遠慮なく相談してください、そのような窓口も設けております。」と挨拶しました。

入会のことばでは、生徒代表の壁屋 臣君が「私たち第70回卒業生は、只今、本校同窓会に入会することを認められました、誠にありがとうございます。思い返してみると、3年間でたくさんのことを学びました。今後、私たちは嘉穂東高校で学んだことを生かしてそれぞれの進路へと旅立っていきます、そして、本校の卒業生としての誇りと同窓会の会員であるという自覚を持ち、日々精進を重ねていくことを誓います。」と力強く挨拶しました。



嘉穂東高校同窓会奨学金授与式

■平成30年3月19日(月)

「嘉穂東高校同窓会奨学金」の授与式を開催致しました。同窓会給付型奨学金が創設され今年で4回目を迎えます。

今年は平成30年3月19日に母校校長室にて、校長推薦で選ばれた2名の生徒に藤江同窓会長より直接、奨学金が手渡されました。(父兄同席のもと)

この制度が、より高い目標を持ち努力を続けている生徒の一助になればと願っています。



高校48回生・49回生 同窓会委員への当番説明会

■平成30年2月13日(火)

役員会主催で、来年当番を迎える48回生(平成8年卒)、再来年当番を迎える49回生(平成9年卒)の同窓会委員を迎え、当番の流れ(実行委員会準備から解散までの概要・組織図の例)をのがみプレジデントホテルにて説明いたしました。

早めに声掛けをすることにより、10月の総会・懇親会で「次期当番生」としての準備が少しでもスムーズにできればと思います。また、今回は昨年当番が終了した46回生と、今年の当番47回生も同席され、今後の情報交換のための顔合わせも出来ました。当番生の皆さんよろしくお祈りします。



還暦だより

高校28回生

還暦同期会を開催して

■28回生還暦同期会

写真提供者 佐藤 伸一朗

■平成29年10月21日(土)

のがみプレジデントホテルでの懇親会には34名、その後、場所を移動してグランドベルズの同期会には、更に多くの仲間が集まり、久しぶりの再会に話題は尽きることなく、大いに盛り上がりました。

また、日を変えて、11月11日~12日に天草・雲仙・伊万里へ還暦記念旅行を開催しました。男性3名・女性6名の少人数でしたが、おいしい料理と楽しい会話で還暦を記念するいい思い出ができました。

今回の還暦同期会を機に、今後も定期的集まること出来ればと思います。



嘉穂東高等学校28回同期会



創立記念式典は、年に1度、母校の長い歴史を振り返るひとつのきっかけとするために、毎年5月に開催されています。1910年創立の母校は、今年で108周年を迎えます。

平成30年度 創立記念式典及び講演会

■平成30年5月9日(水)

主な講演内容

- 成功のコツは熱意(コソコソがコツ)
- 入学直後の校舎焼失、難を糧とした8回生の結束。
- 無くしたものを数えるより、残されたものに感謝する。
- わが身にふりかかるどんな出来事にも必ず意味がある。
- 一流とは、それに徹しきること。
- 生きていく上でのルールは、自分に負けないこと・人を傷つけないこと。
- 本気とは逃げ出さないこと。



講師の柏木さんは、2才で母と死別され、大卒直前の肺結核、3度のがん手術、夫の難病との闘いなど、理不尽で過酷な体験をされました。そのような環境の中で家族や友人の温かい励ましに助けられ、それを学びとして、自分に負けずに奮起する気持ちを持ち続け、前向きに生きてこられた柏木さんの貴重な体験談をお聞かせいただきました。柏木さんの益々のご活躍を、嘉穂東高校・同窓会一同、お祈りしております。

- 現在、各方面で講演多数
(青少年問題、女性の生き方 等)
- 福岡県教育委員会 指導主事
 - 福岡県教育センター 主任指導主事
 - 福岡県教育委員会 指導主事
 - 田川市公立中学校 国語科教諭
 - 田川市教育委員会 校長
 - 田川市教育委員会 教育長
 - 1997年中学校設立50周年記念式典にて文部大臣表彰。



矢ヶ崎校長の式辞では、「創設者、伊藤傳右衛門氏の教育にかけた思いを忘れてはならない、勉強・部活動・生徒会活動などで自分を伸ばす何かをチャレンジしてもらいたい、本校での学びを通して自らの課題に取り組み、他者と協力して解決していくための資質や能力を身に付けて欲しい。」とお言葉がありました。藤江同窓会会長は、「何のために勉強するか、幸せになるため、幸せとは何か、自分自身を表現すること、自分で考え、自分で道をさがして、自己実現をはかること」とのお言葉のあと、正門にデザインされている前漢鏡とその横の波の意味について話しされました。

創立記念講演会

講師：柏木順子さん(高校8回生)
演題：「道を拓く〜一流たれ〜」
経歴：平成37年3月



次に校歌斉唱では、全校女子生徒による嘉穂高等女学校の校歌、そして全校生徒による嘉穂東高校の校歌が斉唱されました。

同窓会支部だより

総会・懇親会・同期会

関西支部総会・懇親会・活動の報告

■開催日:平成30年4月21日(土) ■場 所:大阪キャッスルホテル3階 錦城閣
■http://www.geocities.jp/hoshi_soryuushi_0519/top.htm

早めに桜が散った新緑の大阪で第9回目の総会を開催しました。今回は「来年の10周年への機運を高める」そのために「一人ぼっちな参加者を作らない」と役員会・幹事会で話し合いました。呼びかけに関しては各回生の幹事さんが直筆の手紙などを入れて案内を発送し、87名(昨年は64名)の参加となりました。

企画も、「懇親は各テーブルの幹事さんがリードする」「テーブル対抗クイズ合戦で紅白ひよ子を競ってもらう」「故郷を懐かしむスライドを上映する」「校歌は母校吹奏楽部のカラオケで(本部当番生のリード)」など盛りだくさんとなりました。参加の皆さんには満足いただける総会・懇親会となったと実感しました。

来年は10周年。100名以上の参加で「同窓会は故郷を想う心の休憩所」となるよう奮闘する所存です。

支部長 田中 良一(高校8回生)



高女・高専同窓会 関西支部懇親会
故郷・筑豊飯塚の街と人

東京支部総会・懇親会の報告

■開催日:平成30年6月2日(土) ■場 所:ホテルグランドアーク半蔵門

今年の総会・懇親会は、ホテルグランドアーク半蔵門で開催しました。特別ゲストとしては安永道宏先生(昭和39~49年、国語担当)をお迎えし、当時のなつかしい思い出話を伺うことができました。

ここ数年の総会参加者は増加傾向にあり、今年は124名の方を迎えて、かつてない盛況の中に総会を終えることができました。なかでも当番学年(20回生)が呼びかけた参加者は42名(九州、関西方面から27名)にのぼり、遠来の友との、しかも久方ぶりの再会を楽しむ姿がほほえましく感じられた総会でもありました。この日を迎えるまでには目に見えない苦労があったようです。

数年前から東京支部参加を予告するとともに、100名以上の同期生に年賀状をはじめ総会参加を呼びかけたと聞いています。そして余興として、本格的な琴や日本舞踊で会場を盛り上げてくれたのも20回生でした。

参加者から「楽しい総会・懇親会だった」との声が沢山届くことができました。この30年、東京に出てくる卒業生が皆無に近いことが東京支部の悩みですが、高齢化が進むなかでお互いに支え合い、学年を超えた仲の良さや交流の推進こそが東京支部発展のカギではないかと思う昨今です。

支部長 中野 滋徳(高校12回生)



福岡支部総会・懇親会・活動の報告

■開催日:平成30年6月30日(土) ■場 所:天神スカイホール(西日本新聞会館16階)
■https://kahohigashi-fukuoka.blogspot.jp/

今年は創立以来25回目の節目の総会でした。創立にあたって、手作り・手弁当で支部作り奔走された先輩方の福岡支部への熱い思いと、現幹事の精力的な活動がよく調和していると感じます。

今懇親会での「のど自慢大会」は初の試みであり、成功するかどうか、若干不安でしたが、開催してみると参加者の意気込みと、芸達者ばかりで、本当にびっくりいたしました。発案者である武谷幹事長以下の心意気が、「のど自慢大会」を成功に導きました。

現在福岡支部の特徴として、ここ数年、当番生として頑張った人達が、役目終了後、そのまま福岡支部幹事として残り、非常に活躍してくれています。

来年は平成から新元号に変わりますし、福岡支部幹事一同も、新時代に向かって、益々連携して行きたいと考えています。

支部長 田代 勝(高校15回生)



Interview

表紙のイラストを描いてくれているのはこの人!!



江頭 猛さん(高校36回生)

昭和58年 嘉穂東高等学校卒業
昭和62年 九州産業大学商学部経済学科卒業
昭和63年 福岡県農業共済組合入組 現在に至る



同窓生の活躍

Q1: 絵を描くようになったきっかけは?

5~6歳くらいの頃から絵が好きで描いていました。

Q2: 学生時代の部活は?

大学では漫画研究会に所属し、本気で漫画家になろうと思っていました。当時の仲間には現在も少年誌で連載していたり、映画アニメ化になった者もいますが、私には実力がなかったようです。彼等とは今でもたまに会って、漫画やアニメの話ばかりしていますよ。今でも部員達の都会での活躍は、私の人生観にも良い影響を与えてもらえますね。

Q3: 嘉穂東高校での思い出は?

うーん...私の高校時代はいちばん印象が薄いのですが、先生や周囲に迷惑ばかりお掛けしていたと思います。

Q4: 絵に関して将来の夢や目標などはあれば?

私は専門的に絵を習った訳ではなく、まったくの我流で描いており稚拙な作品ばかりでお恥ずかしいのですが、「母校や皆様の同窓会活動の一助になれば」との思いで描かせて頂いております。

【編集部より】
嘉穂東高校同窓会会報「東陵」の表紙イラストを描いていただいている江頭さんです。毎回テーマも何も告げず「自由に描いてください!」とのことお願いに、ユーモア感があり、心温まる作品を提供してくれて本当に助かっています。勤務先の福岡県農業共済組合の広報誌の表紙イラストも描かれています。作業をされる農家の方のほのぼのとした表情が最高で、いつも楽しみにしています。江頭さん、同窓会の「東陵」も、引き続きよろしくお願ひします。

企画広報部 伊藤浩之



ごあいさつ

嘉穂高等女学校・嘉穂東高等学校
2018年度同窓会総会 実行委員会
実行委員長

久家 一昭 (高校47回生)

日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

嘉穂高等女学校・嘉穂東高等学校2018年度同窓会総会を開催するにあたり、当番幹事の47回生を代表いたしまして、ご挨拶申し上げます。

昨年、46回生よりバトンを引き継ぎ、この一年間で多くの方に出会い、たくさんの事を学ばせて頂きました。先輩方や恩師の励ましの言葉には勇気づけられ、再会した同期生たちと過ごした時間は、自分自身のとても大きな財産となりました。

私たちのスローガンである「東風吹かせ!ともに永遠に」を掲げ、一人でも多くの同期生にこの思いを届けたい。そして、この同窓会をきっかけに再び集まり、新しい風を起こしていきたいとの思いを込め、これまで頑張ってきました。

今思い起こせば、47回生の当番生としてのスタートは、順調なものではありませんでした。準備委員会を立ち上げたものの、なかなか人が集まらず、例年よりもかなり遅れた状況で先輩たちからも、今年の当番生は大丈夫かと心配の声が聞こえてきそうでした。そんな不安の日々を過ごしていましたが、地道な声掛けに少しずつ賛同してくれる仲間が一人また一人と増えていきました。活動している中、ある同期生に「ありがとう」と伝えると、「ありがとうとか言わないで!こちらこそ47回生を代表して頑張ってくれてありがとう!」と、そんな言葉を聞くと嬉しくてまた自然にありがとうと返してしまいました。もちろん、こうした良い反応ばかりでなく、心が折れそうな事もしばしばあり、同窓会ぐらいでそこまで言う人はい

ました。しかし、その同窓会でかけがえのない仲間やご縁が出来て、自分の人生のプラスになれば、とても素晴らしい事だと思っています。

長いようで短かったこの一年間。色々な事がありましたが、46回生の先輩方をはじめ、多くの先輩方や母校からのご支援があったからこそ、無事に迎えることが出来ました。心より感謝申し上げます。

来年度からは、元号も変わり新たなスタートの幕開けです。次年度の当番48回生につなぐ架け橋として、また平成最後の同窓会として、熱く心に残るような時間を皆様とともに作っていきたくと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

最後に、同窓会を開催する為、広告・協賛・物販のご協力を頂きました全ての皆様に、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。今後も、母校並びに同窓会の益々の発展を願ひまして、私のご挨拶とさせていただきます。



INFORMATION

2019年度 総会・懇親会のお知らせ

2019.10.26(土) 総会 12:00~ 懇親会 13:00~
会場: のがみプレジデントホテル

スローガン: 「Hello, Again~昔からある場所~」

同窓会会員の皆様、当日は私たちが精一杯おもてなしさせていただきますので、より多くのご参加をお待ちしております。



2019年度実行委員長
三好 宏輔 (高校48回生)

本部役員 (H28.10~H30.9)

会長	藤江文雄	(高9)
副会長	永末英雄	(高20)
副会長	花元國雄	(高21)
副会長	井上有比古	(高24)
副会長	小池千津子	(高27)
総務部長	近藤哲司	(高31)
財務部長	榎本多賀子	(高30)
企画広報部長	伊藤浩之	(高32)
監事	大塚修一	(高19)
監事	尾籠慎吾	(高31)

東京支部役員 (H30.4~H31.3)

支部長	中野滋徳	(高12)
副支部長(会計・事務局)	伊藤房憲	(高20)
副支部長(渉外担当)	井出せつ子	(高17)
事務局員(会計)	村山夕紀子	(高20)
会計監査	野見山照久	(高11)
会計監査	柴田芳彰	(高22)
活性化委員長	徳永秀昭	(高11)
幹事長	田原親志	(高20)

同窓会事務局

事務局長 上村浩朗 (高35)

福岡支部役員 (H30.4~H32.3)

支部長	田代勝	(高15)
副支部長	児嶋佳苗	(高18)
副支部長	岩佐守	(高19)
副支部長	花岡清利	(高19)
事務局長	小川民夫	(高20)
事務局次長	本田博文	(高23)
事務局次長	野見山武典	(高25)
広報局長	原中圭子	(高35)
広報局次長	阿部令子	(高24)
会計	入江裕章	(高21)
会計	淀川雄治	(高21)
幹事長	武谷政道	(高21)
副幹事長	野見山清豪	(高24)
会計監査	藤正敏	(高18)
会計監査	里弘和	(高22)

関西支部役員 (H30.4~H32.3)

支部長	田中良一	(高8)
副支部長	荒牧建蔵	(高15)
副支部長	長谷川浩二	(高16)
事務局長	花村二郎	(高26)
会計	伊藤日出雄	(高21)
会計監査	花村二郎	(高26)

本部だより

■同窓会会員名簿について

平成25年に名簿を発行して5年が経過しました。現在、会員数は30,000人を超えますが、正確な現住所が判明しているのは18,000人程度です。同窓会からの情報発信として、活動の報告および同窓生・母校の現状を会報誌に掲載し、発送させていただくためにも会員様の住所把握は会としても必要不可欠と考えます。5~6年ごとのデータ更新が望ましいので、次回発行時にはご協力をお願いいたします。

■年会費について

平成27年より同窓会会員の皆様から年会費3,000円をご納入いただく事が決定し毎年、趣意書と振込用紙を封書にて会員の皆様に発送させていただきます。同窓会のさらなる充実と財政基盤の確立、母校の発展のため、年会費納入につきまして皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

編集後記

最近同窓会当番を終えた方が、本部理事会への出席も良く、福岡支部の幹事会・総会にも多く参加していただいております。また、次期当番生への応援も活発に行われ、とても喜ばしいことで、同窓会組織の若返りも期待できるのではないのでしょうか。

「東陵」に加え、同窓会公式ホームページでも最新のメッセージや多岐に亘る情報を発信してまいりますので、卒業生の活躍や同期会の報告、恩師の近況など皆様からの様々な情報をお寄せください。お待ちしております。

企画広報部

私たちが通った母校が生まれかわりました!

～飯塚市小中一貫校が4校完成～

飯塚市立小中学校の施設は、昭和40年代から50年代に建設されたものが多く、老朽劣化も進んでおり、その対策や今後一斉に建替え時期を迎えるなどの問題を抱えていました。

また、学校施設の耐震化、人口減少・少子化の進展を予測し、より教育効果を高めるため、学校規模の適正化を図る必要がありました。この課題への対応策として小中学校の再編整備が行われ、穎田校区(穎田中学校・穎田小学校)、幸袋校区(幸袋中学校・幸袋小学校・目尾小学校)、鎮西校区(鎮西中学校・潤野小学校・蓮台寺小学校)、穂波東校区(穂波東中学校・平恒小学校・楽市小学校)において施設一体型の小中一貫校が建設されました。

地域木材使用、太陽光パネル設置、環境配慮、温かみのある空間づくり、職員室や事務室から生徒の見通しを確保、侵入者に対するセキュリティ対策、地域コミュニティとの融合など、各分野に考慮された施設となっています。

幸袋校



穂波東校



穎田校



鎮西校



■ホームページのバナー広告募集について

公式ホームページの維持・管理費や同窓会運営財源の確保、同窓生相互のコミュニティ等を図ることを目的として、卒業生が在籍する企業・団体または個人を対象に、バナー広告の掲載を承っております。掲載料は、年間10,000円(税込)と非常に安く設定いたしております。卒業生の皆様にはぜひ、ご検討くださいますようお願い申し上げます。



バナー広告企業のご紹介(50音順・敬称略)

常時
受付中!

- 株式会社アービックホームズ
- 社会福祉法人清和会 なつき保育園
- 有限会社アクセス
- レストラン太陽
- 飯塚信用金庫
- 株式会社ナカジマ建設
- 株式会社飯塚花市場
- 中嶋プロバン瓦斯株式会社
- 井上洋服店
- 株式会社ニッソー
- 今心株式会社
- (株)のがみ のがみ総合グループ
- WING
- (株)happiness 帆風
- エコモインターナショナル株式会社
- 福豊帝酸株式会社
- 大塚石材株式会社
- (有)プレジール
- 医療法人社団 親和会 共立病院
- (株)マクリー うめはうす
- 株式会社クボイ
- 村上ホーム株式会社
- 医療法人康和会 アイ歯科医院
- 吉岡スタジオ
- こすも葬祭
- 楽天生命保険株式会社代理店
- 有限会社コスモシステム福岡
- 佐藤伸一朗
- 佐野医院
- 株式会社リースキンサトー
- ジェンテックス・ジャパン株式会社

H30.9 現在

同窓会公式ホームページでは、同窓生の皆様からの情報をお待ちしております。

●同窓会公式ホームページアドレスは <http://kahohigashi-doso.net> です。

